

TOKYO働き方改革宣言

多様な働き方として、在宅勤務制度を導入。計画的に業務を進め残業を削減できる、自立社員を育成。積極的な休暇取得でリフレッシュできる職場づくり。管理職自身が年休取得のロールモデルになる。

令和2年3月24日
株式会社スパイスワークス

目 標

働き方の改善

1人あたり月平均時間外労働30時間以内を目指す。

休み方の改善

年次有給休暇の取得率80%を目指す。
フレキシブル休日の取得を100%とする。

取 組 内 容

働き方の改善

在宅勤務制度導入により多様な働き方を支援。
毎月社員の残業時間の実績を管理職に報告し見える化。
他部署の残業時間も共有、削減(生産性向上)を競う。

休み方の改善

計画的な年休取得のため、年間付与日数に応じた年休消化目標割合を定め、年初に上司部下の面談機会を設けて年間の取得予定を定める。
取得が100%に満たなかった「夏季休暇」を廃し、記念日等のイベント時に通年取得できる「フレキシブル休暇」を定める。